

七 年 生 国 語 1 夏 休 み の 宿 題

氏 名

- 1 ワーク 以下のページを終わらせる
「にじの見える橋」 P 4、10
「ダイコンは大きな根？」 P 12、16
「ちよつと立ち止まって」 P 17、22
「はじめての詩」 P 26、28
「江戸からのメッセージ」 P 39、44
- 2 ワークの復習プリント（この冊子に入っているもの）
・前期末テストの練習のつもりで、答えを見ないで
取り組むこと。そのあとに答え合わせをすること。
書き写し課題
- 3 教科書 P 112、113
へ接続する語句へつながらりに着目して読む
※授業ではやりませんが、作文を書くときに役立てましょう。
- 4 読書レポート
・好きな本を一冊選び、あらすじや感想を書きましよう。
夏休みの思い出
- 5 最後のページに夏休みの思い出を書きましよう。

※提出日 八月二十九日（土）

この冊子とワークを提出しましょう。





場面や行動から少年の気持ちの変化を読み取る ⑧ 終わり

階段を二段ずつ駆け上って、車の流れの真上に立つと、にじはまさに、森とビルのとぎれた所、国道の真正面から立ち上っている。手すりにつかまって、少し背伸びしながら身を乗り出すと、このはなやかな橋の始めから終わりまでを、ひと目で見わたすことができた。

さっきの子供たちが、少年の意図を察したらしく、後から続いて駆け上ってきて、思い思いの歓声をあげている。

少年は、大きく息を吸った。この前、にじを見たのはいつだったろう。この子たちくらい小さいころ——いや、もつとずつと前のような気がする。もしかしたら自分は今、生まれて初めてにじを見たのではないかと、少年は思った。

目の下を、車の列が絶え間なく流れてゆく。かさをすぼめた人たちが、上も下も見ないで自分の道を急ぐ。だれも、頭上の出来事に気づかない。あるいは気がついてても、なんとも思わないのか。だれ一人、立ち止まって、この大空のドラマに眺めているものはない。

少年はふと、初めて、自分のことを恵まれたものに感じた。「おうい、何してんだあ。」

下から呼ばれて、身を乗り出すと、仲たがいはしたはずの友達が、かばんを振り回しながら、あきれたようにこちらを見上げています。

8 「このはなやかな橋」とは、なんのことですか。文章中の言葉を書きなさい。 3

9 「少年の意図」とありますが、どんな意図ですか。当てはまる言葉を書きなさい。

から、見よう

という意図。

10 「生まれて初めてにじを見たのではないかと、少年は思った。」とありますが、ここからどんなことがわかりますか。次から一つ選びなさい。 2

A 今まで体験したことがないほど、にじを見て感動したこと。
I そばで見ている子供たちと、感動を分け合ったということ。
U 少年が、これまでににじを見たことがなかったということ。
E さっきの子供たちも生まれて初めてにじを見たということ。

11 「この大空のドラマ」とありますが、このようにたとえることで、どんなことが強調されていますか。次から一つ選びなさい。 3

A だれ一人立ち止まらない不思議さが強調される。
I 車の列の混雑と人々のせわしなさが強調される。
U 少年の、にじを見たか定かでない不安が強調される。
E 少年の、にじに対する感動の大きさが強調される。

魚市場でさばを数えるのに、急いで数えて数をごまかすことがあったことから、利益を考えて実数をごまかすこと。

物語文

読解のポイント

4 場面展開に着目する

場面展開では、主に次の三点に着目する。

【場面展開のとらえ方】

- ①登場人物の入れかわり
- ②時間の変化
- ③場所の移動

これらの変化に合わせて、中心人物がどのように考え、行動しているかに気をつけよう。

場面展開のポイント


『にじの見える橋』では、

- ①人物…仲たがいははずの友達の登場。
- ②時間…にじを見る前と見た後の変化。
- ③場所…歩道から歩道橋の上への移動。などが、場面展開に関係している。

「早く早く。」
少年は笑いながら、体をすらして、にじを正面に見る場所を空け、友達が上ってくるのを足踏みしながら待った。

少年も大声で呼び返す。友達は、少年の指さす方をひと目見て、さつき少年が感じたのと同じ衝動に駆られたように走りだした。歩道の端にけつまずいて、かばんを放り出し、危うく転びかける。
「早く早く。」

少年は笑いながら、体をすらして、にじを正面に見る場所を空け、友達が上ってくるのを足踏みしながら待った。



12

「自分のことを怠まれたものに感じた」とありますが、少年は、なぜこのように感じたのですか。文章中の言葉を書きなさい。 2

だれ一人、
にじに
は、
にじに
は、
にじに
は、
にじに

ているから。

13

「少年は笑いながら」とありますが、このときの少年の気持ちを、次から一つ選びなさい。 2

- ア 転びそうになった友達の姿がこっけいに見える。
- イ 友達が自分の言うことに従って、すっきりした。
- ウ 友達と同じ感動を分かちあえることがうれしい。
- エ 友達よりも恵まれていると感じられて、痛快だ。

14

「足踏み」とありますが、このときの足踏みが表す気持ちは、6ページの「足踏み」からどう変わっていますか。当てはまる言葉を書きなさい。 2 4

なにもかもに
足踏み。

友達を
足踏み。
楽しくそわそわした

慣用語 おくひにも出さない=「おくひ」はげっぶのこと。心に秘めて、そぶりにも見せない様子。

「ダイコンは大きな根？」

考える

段落の役割に着目して読む

410 終わり

④ 器官が違うことで、じつは味も違ってきます。なぜ違ってくるのでしょうか。

⑤ 胚軸の部分は水分が多く、甘いのが特徴です。胚軸は、根で吸収した水分を地上の茎や葉に送り、葉で作られた糖分などの栄養分を根に送る役割をしています。

⑥ いっぱう、根の部分は辛いのが特徴です。ダイコンは下にいくほど辛味が増していきます。ダイコンのいちばん上の部分と、いちばん下の部分を比較すると、下のほうが十倍も辛味成分が多いのです。ここには、植物の知恵ともいえる理由が隠されています。

⑦ 根には、葉で作られた栄養分が豊富に運ばれてきます。これは、いずれ花を咲かす時期に使う大切な栄養分なので、土の中の虫に食べられては困ります。そこで、虫の害から身を守るため、辛味成分を蓄えているのです。ダイコンの辛味成分は、普段は細胞の中にありますが、虫にかじられて細胞が破壊されると、化学反応を起こして、辛味を発揮するような仕組みになっています。そのため、たくさんの細胞が壊れるほど辛味が増すこととなります。

⑧ これらの特徴を活用して調理すると、ダイコンのさまざまな味を引き出すことができます。例えば、大根下ろしを作るときに、辛いのが好きな人は下の部分が向いていますし、辛

④ 「器官が違うことで、じつは味も違ってきます。」とありますが、器官によって味がどう違うのか、胚軸と根について次のようにまとめました。文章中の言葉を書きなさい。

根	胚軸	味の特徵
<p>⑤</p> <p>いくほど が増す。</p> <p>のが特徴。</p>	<p>が多く、 のが特徴。</p>	
<p>壊されると を發揮。</p> <p>にかじられて、 成分を蓄えている。</p>	<p>茎や 水分を送る。</p> <p>栄養分を送る。 などの</p>	その味になる仕組み

⑤ 「ダイコンは下にいくほど辛味が増していきます。」とありますが、ダイコンの下のほうが辛いのはなぜですか。次から一つ選びなさい。

- ア 根にある栄養分を食べてしまう虫の害から身を守るため。
- イ 葉で作られた栄養分が、たっぷり根まで運ばれるため。
- ウ 水分が外にいけないように辛味成分が保護しているため。
- エ たくさんの細胞が壊れるほど、栄養分が豊かになるため。

④の「のるか反るか」の「のる」は長くのびる、「反る」は反対側に反り返る意味で、成功するか失敗するか、ということ。

説明文

読解のヒント

2 指示する語句(こそあど言葉)をとらえる

指示する語句の内容は、前の部分に書かれていることが多い。前にはない場合は、後者の部分に注目しよう。

【内容の置きかえ方・確かめ方】

見つけた内容は、指示する語句と置きかえてみよう。そのまま置きかえられる場合と、「こと」や「もの」などの言葉を補ったり、言葉の順序を入れかえたりするなど、表現に工夫が必要な場合もあるので、注意しよう。

読解のポイント

⑦段落最後の文の「そのため」の「その」は、直前の一文の内容を指す。置きかえると、「ダイコンの辛味成分は、……辛味を発揮するような仕組みになっているため」となる。

3 段落の役割に着目する

段落とは、書き手が自分の意図を明確に伝えるために、文章を内容のまとまりごとに区切ったものである。

【段落のおもな役割】

- 導入・呼びかけ・問題提起 など
- 説明・解説・根拠・例示・引用 など
- まとめ・意見・主張 など

【説明文の構成の型の例】

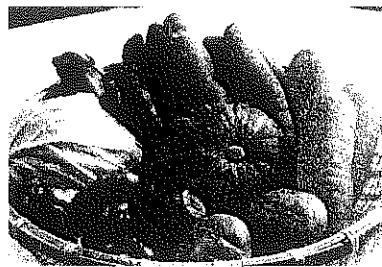
- 初め(問題提起など)→中(説明など)→終わり(まとめなど)
- 初め(筆者の主張)→中(解説など)→終わり(主張のくり返し)

筆者が最も述べたいことは、最初か最後の段落に書いてあることが多い。

読解のポイント

筆者は⑨段落で、「……植物として観察してみると興味深い発見があります。……これまで気づかなかった野菜の新しい魅力が見えてくるかもしれません。」と、自分の考えを述べている。

⑨ 普段何気なく食べているダイコンも、植物として観察してみると興味深い発見があります。他の野菜はどうでしょうか。いろいろと調べてみると、これまで気づかなかった野菜の新しい魅力が見えてくるかもしれません。



⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

8 筆者の考えが短くまとめられているのは、どの段落ですか。段落の番号を書きなさい。 3

段落

7 辛いのが苦手な人に大根下ろしを作るには、どうすればいいですか。文章中の言葉を使って、二つ書きなさい。

6 「この文章は、二つある内容を、文章の中から書きぬきなさい。」

慣用句 お茶をにごす=その場をいいかげんにごまかす。

「ちよこちゃんちよこちゃん」

B 三つの図について説明をよめる

44頁～46頁

1 教科書44ページの図について、次の問いに答えなさい。

この図は、ちよこちゃんちよこちゃんという文章の中の言葉で書かれています。

- (2) 「この図から二種類の絵を見てとることができる」とありますが、どんな見方で見ると次のものが見えますか。それぞれ簡潔に書きなさい。



▲優勝カップか、二人の顔か。

向き合っている二人の顔の影絵

- (3) 「このようになこと」とは、まとめるとどんなことですか。文章中の言葉を書きなさい。

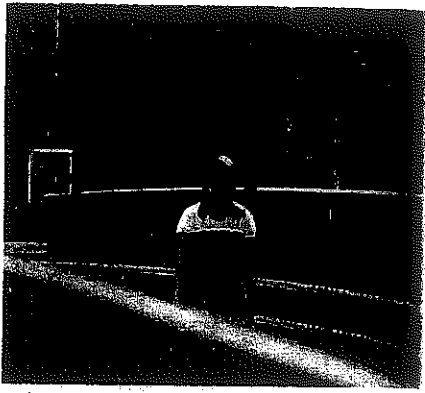


のものが全て、単なる

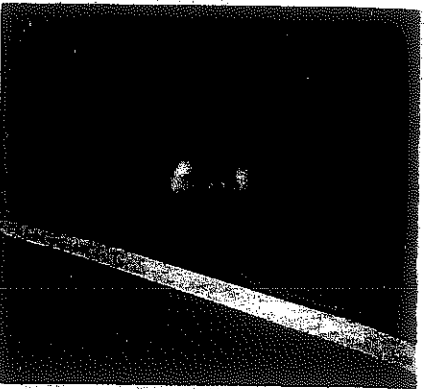
になってしまったこと。

- (4) 筆者は、この図と同じようなことが起こる例を、45頁「日常生活の中」から挙げています。その例において、「二種類の絵」に当たるものはありますか。文章中の言葉を書きなさい。

と



▲人にカメラのピントが合う。



▲橋にカメラのピントが合う。

- (5) 45頁「思いがけない一面」とは、どんなことですか。文章中の言葉を使って書きなさい。

2 教科書45ページの図は、どんな絵に見えますか。文章から二つ書きなぬきなさい。



▶若い女性か、おばあさんか。

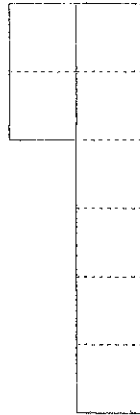
【慣用句】ほそをかむ＝「ほそ」はへそのこと。自分のへそをかもうとしてもかめないことから、どうにもならないことをこういすること。

3 46頁「別の絵と見ることは難しい。」とありますが、なぜ難しいのですか。適切なものを次から一つ選びなさい。()

ア ひと目見て、即座に何の絵か判断しなければならぬから。
イ 何かの絵が見えてくるまで、見つめ続ける必要があるから。
ウ 一度見えた絵を、意識して捨て去らなければならぬから。
エ 一瞬のうちに、中心に見るものを変えることができるから。

4 教科書46ページの図について、次の問いに答えなさい。

(1) 46頁「もう一つの絵」とは、どんな絵ですか。文章中から八字で書きぬきなさい。



(2) 46頁「もう一つの絵」は、どうすれば見えますか。文章中の言葉を使って書きなさい。



▲どくろか、女性か。

5 46頁「秀麗な富士山」、46頁「きれいなビル」は、近づいて見ると、どのように見えますか。それぞれ文章中から書きぬきなさい。

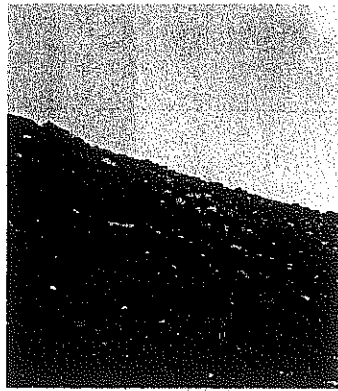
富士山

ビル

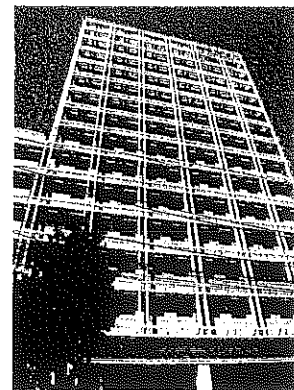
Blank rectangular boxes for writing answers to question 5.



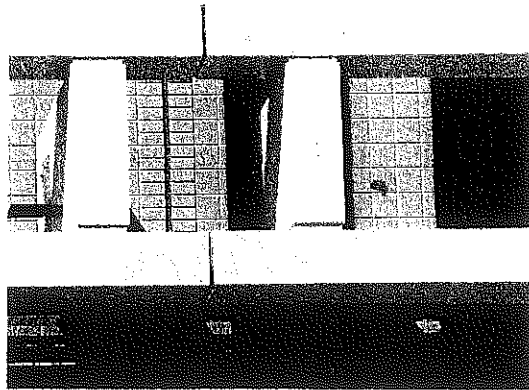
▲秀麗な富士山



▲富士山の荒々しい山はだ



▲きれいに見えるビルの外見



▲ビルのひび割れ

6 富士山とビルの例は、どんなことを表すために挙げられたのですか。適切なものを次から一つ選びなさい。()
ア 物事の真実は、遠くから見て初めてとらえられること。
イ 近くから見るか遠くから見るかで、違うものに見えること。
ウ 一度一つの見方をすると、違う見方をするのは難しいこと。
エ 一見美しく見えるものでも、細部は必ずよこれていること。

【慣用句】白紙で読む=先入観などをもたないで、ことに当たる。

3 「江戸の町全体を自分の家のよう」に使いこなす機能的な暮らし方」について、次の問いに答えなさい。

(1) 具体的にはどんな暮らし方ですか。次のことをどこでしていたか、文章中から書き抜きなさい。

睡眠……………

食事……………

応接……………

ミーティング……………

(2) 筆者は、このような暮らし方には、何があつたと考えていますか。文章中から十五字で書き抜きなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

4 筆者は、「江戸っ子たちが⁸¹物を大切に使った」のはなぜだと考えていますか。次から一つ選びなさい。()

- ア 古くなればなるほど価値があると考えられていたから。
- イ 物を作る人、売る人、直す人の存在を感じていたから。
- ウ 物資がなく、代わりのものを手に入れにくかったから。
- エ 次々に物を買うようなことは恥だと思われていたから。

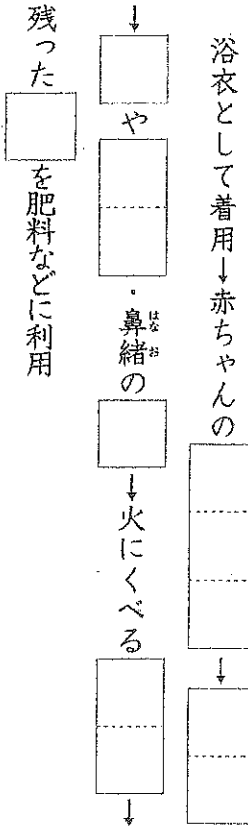
5 「どんな道具でも、こみとして捨ててしまふことはなかった。」とありますが、筆者はこの理由をどのように述べていますか。文章中の言葉を書きなさい。

江戸の基本理念は「
」であり、
はあたりまえという
を身につけていたから。

6 ⁸¹「残る物」を購入する場合は三度考えて買え」とはどういう意味ですか。適切なものを次から一つ選びなさい。()

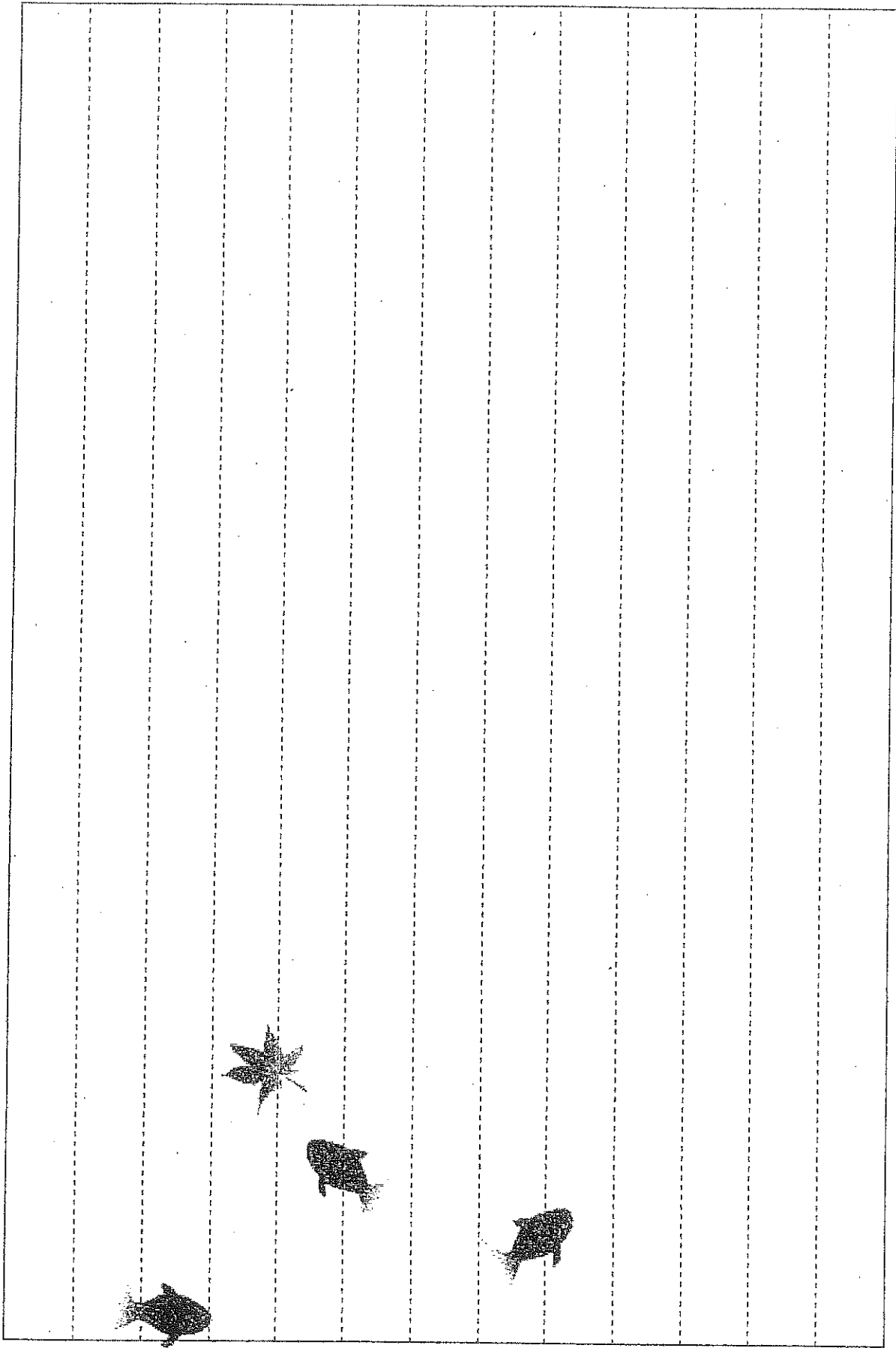
- ア 他の店も回って、適正な値段をよく確かめてから買うこと。
- イ 壊れたら修繕がきくかどうかを店に確認してから買うこと。
- ウ のちのちリサイクルできる素材かどうかを見きわめること。
- エ その場の衝動でなく、本当に必要なのかを見きわめること。

7 ⁸¹「買った後は、その物の形がなくなるまで修繕を繰り返し、とことん使い切った。」とありますが、「浴衣」の場合はこのように使い切りましたか。文章中の言葉を書きなさい。



81 目白黒させる = 目玉を激しく動かす様子から、苦しんでいるときやひどく驚いたときの様子。

★夏休みの思い出を書きましょう。



The image shows a large rectangular area with vertical dashed lines, intended for writing. At the bottom of this area, there are four small, dark illustrations: a maple leaf on the left, and three fish swimming towards the right.